

2016年
クイーン倶楽部だより 10月号
第164号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



平成28年産
新米
お届け
しました!

稔りの秋!!

ピカピカの新米

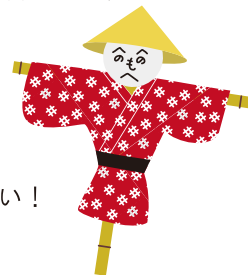
10月より
発送開始です!



今年も稔りの秋、新米の時期を迎えました。稲刈り前に長雨が続き、思うように稲刈りが進まずやきもきました。ようやく皆様にお届けできる日を迎えました!

毎年のように天候不順に悩まされておりますが、手間がかかったぶんだけ愛情もひとしお。

新米をどうぞお楽しみください!



中村 信也(なかもらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

その18
ドクター "N" の 私にも一言言わせて

※ドクター…英語で博士の意味

生きる張り合い

月に1回土曜夜から日曜夕方までの救急医療を地方都市でやっている。自称「週末医療」専門医である。何でも診察対応するので、非常に貴重な存在で、現在では絶滅危惧種の医師でもある。

救急医療は種々な患者が来て楽しいといえは楽しい。腰が膝の痛みのお年寄りの愚痴を聴くしかない整形外科よりははるかに楽しい。

先月の興味ある症例は十七歳の少女であった。熱がある、風邪を引いた、ふらついて歩けない、と母親に連れられて来院。やせて生気がなく、一言も発しない。返事の相槌もなく、大きいマスクで顔も見えない。精神科に通院中で二種の向精神薬を服薬中とのことで、そちら系統の病気と一目瞭然。通院リハビリ患者の対応もあるので、吐き気止めの薬を点滴し経過観察。点滴終了後も生気反応なく不変。母親希望で入院へ。

午後、入院室へ診察。眠たそうで、典型的な「気虚」である。進学せず引きこもり生活であるという。被虐待児の施設の職員と語ったことがあるが、引きこもり少女は成人になっても継続し、生活保護しかなく、一生そのまま過ごす例が少なくないらしい。

問題は、精神疾患は薬で治ると信じている精神科の先生である。薬いじりしかせず、効くまで飲まそうホトトギスで、多剤となつてゆき、いたずらに女盛りが過ぎてゆく。

気虚は動く動悸がないので「動かない」のである。うつ病の「動けない」と違いなのである。動かす動悸は「生きたい」である。生きたいを見つけないと一生このままだ、何か好きなことは何かないか、と問うと、動物が大好きだという。では、ペットが動物で仕事は何がないか今日から親子で話し合ってくれと忠告したが、その後何か変わったのかしら?..